

伊東市 まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン 改訂版（案）（概要）

1 伊東市の将来人口推計

国立社会保障人口問題研究所の人口推計では、平成27年国勢調査人口を基に、人口の長期見通しを行った結果、伊東市の人口は、2060年に約29,000人程度になると推計されています。

2 伊東市の人口の将来展望

(1) 現状と課題

ア 自然増減の状況

伊東市の自然増減の状況をみると、近年の出生数はほぼ横ばいなのに対して、死亡数の増加傾向は続いており、その結果として自然減の傾向となっています。

また、合計特殊出生率の水準は依然として低く、理想の子ども的人数である「2～3人」との開きは大きくなっています。

20・30歳代の若年層の未婚率が上昇しており、男女とも半数前後が未婚者となっています。

イ 社会増減の状況

男女とも20歳代前半での転出が多く、その後のUターン等による人口回復の動きも、近年では、若年層が進学等で市外に転出して戻ってこない、若年層の新規転入が少ないこと等により鈍化しています。特に20・30歳代の女性の人口が減少し、出産・子育て世代の人口減少が進行しています。

ウ 就業者数の状況

人口減少や高齢化の進行等により、労働力人口は減少傾向にあります。特に女性の若年層での転出が多いことから女性の労働力率低下が顕著となっています。

若年層の転出を抑制するとともに、転入を推進していくためには、若年層の就労が可能な環境づくりが必要です。

(2) 目指すべき将来の方向

65歳までを対象とした積極的な移住定住促進により、年齢構成のバランスを維持し、持続可能な地域の実現を図ります。

第五次伊東市総合計画の目標人口（令和12年 60,000人）を達成するとともに、令和42（2060）年に人口36,000人を確保します。